

# 指定管理者に関するモニタリングシート

黄色のセルを施設担当課が記入

## 1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 令和 4 年度)

施設の名称	東大阪市立埋蔵文化財センター	指定期間	3 年度～	3 年度
		指定の方法	複数施設を一括指定管理	
施設所管課	人権文化部 文化室 文化財課	連絡先	06-4309-3283	
設置目的	埋蔵文化財の調査、研究及び保存を行うとともに、その活用を図り、もって市民文化の向上に資するため、埋蔵文化財センターを設置するもの。			
施設内容・業務内容等	埋蔵文化財センターは、敷地面積は2,837㎡で、施設として、一階に展示室、体験学習室、視聴覚室、特別収蔵室、堅穴住居等がある。指定管理者には、施設の維持管理業務・展示業務・イベント業務を委託している。			
指定管理者	公益財団法人 東大阪市文化振興協会	連絡先	072-983-2340	
人員体制	正規職員	1 人	パート・アルバイト	0 人
			その他	0 人

埋蔵文化財センター1人、他施設兼務の職員が3人

## 2 管理運営状況等

年度	実績			今年度(予算)	次年度(見込)
	令和 1 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
管理形態	指定管理	指定管理	指定管理	指定管理	
供用(開館)日数	279	259	255	301	休館
指定管理委託料(千円)	16,860	16,775	19,971	20,017	
利用状況指標	1 入館者数(人)	11,044	3,976	4,403	新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休館。 補足説明 R2.2.29～R2.5.22 R3.4.25～R3.6.20
	2 体験学習参加人数(人)	8,431	1,951	2,327	
	3				補足説明

### 3 モニタリングの総括

「個別評価」(自動表示) : S=チェック項目が全て○、A=×がなく「得点」が中間点以上、  
 B=×がなく中間点未満あるいは×が1個で「得点」が中間点以上、C=×が2個以上。  
 「最終評価」(任意決定) : 個別の評価結果を踏まえて、評価者の裁量で決定する。

モニタリングの観点	施設担当課のモニタリング	
	個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項
<b>A 行政視点</b> 施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	A	臨時休館も2か月ほどあったが、イベントは規模を縮小するなど工夫をし、概ね事業計画どおり実施できた。危機管理マニュアルが整備され、避難訓練も実施していたことは評価できるが、緊急連絡網は最新の体制に更新する必要がある。
<b>B 管理・運営能力</b> 人員・予算等の資源を管理し、快適に施設や設備等を利用できる環境を整備しているか？	A	施設の老朽化にも可能な限り対処し、備品・清掃など施設管理が適切に管理されていた。
<b>C サービス</b> 平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	A	イラストをつけるなど、分かりやすい施設案内表示に努めていた。外国語表記については部屋名のみ英語表記にとどまっているので、他の利用案内や展示説明等も含め多言語の表記が必要である。また、外部講師を招き接遇研修を実施し、職員の接遇能力向上に努めたことは評価できる。
<b>D 市民視点</b> 市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	S	前年度の指摘が改善され、利用者アンケートが実施され、アンケート結果も館内に掲示されている。また、市への月別報告書において、アンケート結果が報告されている。
<b>E 効果・効率性</b> 施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	S	消耗品は、他施設の分を含め一括購入するなど経費削減が図られている点は評価できる。
<b>F 法令等遵守</b> 法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	S	法令や各種規則等を理解し遵守できている。引き続き引き続き関連法規等の情報共有を組織内で行ってほしい。
<b>課題への対応 今後の取組</b>	最終評価 (任意設定)  A	危機管理マニュアルの整備や、利用者アンケートの実施など、前年度の指摘が改善された。展示については、現状年1回のリニューアル回数を増やし、マンネリ化しないよう内容を充実させることが必要である。